

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|       |                                      |       |             |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 4170300398                           |       |             |
| 法人名   | 株式会社 アメニティライフ                        |       |             |
| 事業所名  | マーブルくらのうえ                            |       |             |
| 所在地   | 佐賀県鳥栖市蔵上3丁目304<br>(電 話) 0942-87-5558 |       |             |
| 評価機関名 | 社団法人 佐賀県社会福祉士会                       |       |             |
| 所在地   | 佐賀市八戸溝1丁目1224番2                      |       |             |
| 訪問調査日 | 平成 20年2月20日                          | 評価確定日 | 平成 20年3月16日 |

## 【情報提供票より】(平成 20年1月29日事業所記入)

### (1)組織概要

|       |                 |                                |      |
|-------|-----------------|--------------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 4 月 1 日 |                                |      |
| ユニット数 | 2 ユニット          | 利用定員数計                         | 18 人 |
| 職員数   | 14 人            | 常勤 10 人 , 非常勤 4 人 , 常勤換算 6.1 人 |      |

### (2)建物概要

|      |                    |
|------|--------------------|
| 建物構造 | 重量鉄骨 造り            |
|      | 2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分 |

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                    |                |          |
|---------------------|--------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 37,000 円           | その他の経費(月額)     | 16,000 円 |
| 敷 金                 | 有( 円)              | (無)            |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | (有) 100,000 円<br>無 | 有りの場合<br>償却の有無 | 無        |
| 食材料費                | 朝食 200 円           | 昼食 300 円       |          |
|                     | 夕食 500 円           | おやつ 100 円      |          |
|                     | または1日当たり 円         |                |          |

### (4)利用者の概要( 1月29日現在)

|       |         |         |         |    |      |
|-------|---------|---------|---------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性      | 5 名     | 女性 | 13 名 |
| 要介護1  | 5 名     | 要介護2    | 6 名     |    |      |
| 要介護3  | 4 名     | 要介護4    | 2 名     |    |      |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2    | 0 名     |    |      |
| 年齢    | 平均 86 歳 | 最低 72 歳 | 最高 99 歳 |    |      |

### (5)協力医療機関

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | 斉藤内科医院 啓心会病院 門司歯科医院 |
|---------|---------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鳥栖市街地西側の閑静な新興住宅地の中にあり、外観は周りの住宅に馴染んでいて、一般の住宅とともに溶け込んでいる。また、近くには川が流れ遊歩道や公園があり、近隣住民との交流や入居者の散歩に利用されている。近所の人たちとともに行事を楽しんだり、地域交流会を開催するなど、普段から地域との関係作りがなされている。各ユニットの職員間の連携がとられ、そのことが入居者との関係にも良い影響を与えている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目  | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価では研修制度について改善課題となっていたが、研修に参加しやすいよう勤務を変更できるなど取り組まれている。</p>                                                                                                                                           |
| 重点項目① | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価及び外部評価結果を全職員で共有し、経営者も含めて話し合いが行われている。また、全職員で自己評価が行われ、改善意識につながっている。</p>                                                                                                                                       |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事故報告や行事、レクリエーションの報告、職員会議や研修報告が行われ、メンバーからの意見は職員会議で話し合われている。しかし、地域住民への声かけは行われているが参加はなされていない。引き続き、近隣住民の参加への協力をお願いし、様々な意見がサービスの向上に活かされることを期待したい。</p>                                        |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホームの玄関に設置されている意見箱や家族会など、家族が意見を言いやすい機会を設けられ、その内容について会議で検討されている。家族への報告は、請求書送付時に金銭管理の報告と、入居者の1ヶ月の様子を担当スタッフが手紙で送付されているが、職員の異動やホームの取り組み等については報告されていない。職員の異動等、ホーム側のお知らせを伝えることで、より一層、家族とのよりよい関係作りに期待したい。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域のお祭りの見学や廃品回収に参加されているが、新興住宅地であるため、自治会がなく積極的な参加が行われていない。これから自治会の充実を期待し、積極的に地域活動に参加されていかれることが望まれる。</p>                                                                                                              |

## 2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項 目                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                          |
|-----------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |                                                                                         |                                                                                     |      |                                                            |
| 1. 理念と共有              |    |                                                                                         |                                                                                     |      |                                                            |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 地域住民の協力を得ながら、地域で愛されるホームでありたいという思いをいれた理念がつくりあげられている。                                 |      |                                                            |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 会議や申し送り時に確認が行われ、常に意識できるよう声かけが行われている。                                                |      |                                                            |
| 2. 地域との支えあい           |    |                                                                                         |                                                                                     |      |                                                            |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域のお祭りの見学や廃品回収に参加されているが、新興住宅地であるため、自治会がないこともあり、地域の活動が充実しておらず、ホームとしても積極的な参加が行われていない。 | ○    | これから自治会の充実を期待し、ホームから積極的に働きかけられ参加されていかれることを期待する。            |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |                                                                                         |                                                                                     |      |                                                            |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 自己評価及び外部評価の結果の意義について、全職員が理解し共有するように努められ、評価結果の内容についても全職員が把握し、改善点を意識するよう取り組まれている。     |      |                                                            |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 事故報告や行事、レクリエーションの報告、職員会議や研修報告が行われ、メンバーからの意見は職員会議で話し合われ、声かけをされているが、地域住民の参加はなされていない。  | ○    | 引き続き、近隣住民の運営推進会議への参加協力の声かけを行い、様々な意見がサービスの向上に活かされることを期待したい。 |

| 外部              | 自己 | 項 目                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                |
|-----------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 地域のグループホーム協議会に参加し、市町村と連携してサービスの質の向上に取り組まれている。                                       |      |                                                  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |                                                                                                      |                                                                                     |      |                                                  |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 請求書送付時に金銭管理の報告と、入居者の1ヶ月の様子を担当スタッフが手紙を記入され送付されているが、職員の異動やホームの取り組み等については報告されていない。     | ○    | 職員の異動等、ホーム側のお知らせを伝えることで、より一層の家族とのよりよい関係作りに期待したい。 |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | ホームの玄関に設置されている意見箱や、家族会など家族が意見を言いやすい機会を設けられ、会議で検討されている。                              |      |                                                  |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 各ユニットの職員を固定化し、馴染みの職員によるケアを心がけている。また、ユニット間の交流を行うことで、ホーム全体の関係構築に努められている。              |      |                                                  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |                                                                                                      |                                                                                     |      |                                                  |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 外部研修を受ける機会を設け、職員の資格取得を勧められている。新人教育は、管理者や看護師など経験豊富な職員が行い、スキルの向上に努められている。             |      |                                                  |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | グループホーム協議会やケアマネジャー協議会に参加することにより、同業者との交流を行ったり、入居者が利用されていた事業所との連携を通してネットワーク作りが行われている。 |      |                                                  |

| 外部                                 | 自己 | 項 目                                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |                                                                                                                   |                                                                                |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |                                                                                                                   |                                                                                |      |                                   |
| 12                                 | 26 | <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | ホームの見学やホームで一緒に過ごすなど、入居前から馴染めるよう柔軟な対応をされている。                                    |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |                                                                                                                   |                                                                                |      |                                   |
| 13                                 | 27 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                       | 一緒に過ごししながら、職員が入居者に相談し学ぶ機会を持たれている。                                              |      |                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |                                                                                                                   |                                                                                |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |                                                                                                                   |                                                                                |      |                                   |
| 14                                 | 33 | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                                           | 日頃の様子から、心地よく過ごされている時や落ち着いて過ごされている様子を把握し、意向の確認に努められている。                         |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |                                                                                                                   |                                                                                |      |                                   |
| 15                                 | 36 | <p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>        | 本人、家族、関係機関、職員と話し合い、入居者本位の介護計画が作成されている。                                         |      |                                   |
| 16                                 | 37 | <p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>    | 毎月モニタリングが行われ、定期的な見直しが行われている。また、状態変化時には、本人、家族、関係機関、職員と話し合い、現状に即した新たな計画を作成されている。 |      |                                   |

| 外部                                     | 自己 | 項 目                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |                                                                                             |                                                              |      |                                   |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 買い物代行や通院時の送迎など、家族の状況や要望に応じて柔軟な対応が行われている。                     |      |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |                                                                                             |                                                              |      |                                   |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人、家族の希望するかかりつけ医を確認し、受診や往診を受けられるよう支援されている。                   |      |                                   |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | マニュアルが作成され、契約時に本人・家族に対し説明し、状態の変化に伴い本人・家族等と話し合っており、方針を共有している。 |      |                                   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援              |    |                                                                                             |                                                              |      |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |                                                                                             |                                                              |      |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                            |    |                                                                                             |                                                              |      |                                   |
| 20                                     | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 一人ひとりに合った声かけやプライドを傷つけないような対応に心がけ、記録などについても管理を徹底している。         |      |                                   |
| 21                                     | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 入居者の体調や気分に合わせて、ひとりの時間や活動の参加など、希望に添った支援が行われている。               |      |                                   |

| 外部                            | 自己 | 項 目                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                             | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |                                                                                 |                                                             |      |                                   |
| 22                            | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 入居者の力を活かしながら、職員と一緒に食事の準備や、食事、後片づけが行われている。                   |      |                                   |
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 時間や回数は一律に決められているのではなく、本人の希望に応じて対応され、家族の協力を得て銭湯利用の支援も行われている。 |      |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |                                                                                 |                                                             |      |                                   |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 畑仕事、料理、掃除など一人ひとりの役割があり、職員が感謝の気持ちを伝えることにより、意欲を引き出されている。      |      |                                   |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 季節に合わせたドライブや、希望による遊歩道の散歩など、外出支援が行われている。                     |      |                                   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |                                                                                 |                                                             |      |                                   |
| 26                            | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 職員の見守りや鈴、センサーを活用し、日中鍵をかけないケアに取り組まれている。                      |      |                                   |
| 27                            | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年2回夜間を想定した消防訓練が行われており、また近隣にも協力を得られるよう声かけが行われている。            |      |                                   |

| 外部                         | 自己 | 項 目                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |                                                                                                               |                                                                                |      |                                   |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 全職員で献立案を考え、看護師や介護士が献立を計画している。病状に合わせて、食事・水分の摂取量の確認が行われている。                      |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |                                                                                                               |                                                                                |      |                                   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |                                                                                                               |                                                                                |      |                                   |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 遮光カーテンやブラインドにより、和らいだ光の取入れが行われている。また、テレビや職員の声のトーンにも配慮されている。                     |      |                                   |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 本人や家族と相談し、ベッドや家具、写真など馴染みのあるものをもってくることで、住環境の変化があっても、本人が居心地よく過ごすことができるよう工夫されている。 |      |                                   |